

## 令和元年度「全国審査員研修会」開催報告

平成9年に「素人そば打ち段位認定制度」が旧全麵協に導入されて以来22年が経過して、段位認定者は15,000人に達しようとしております。初期における段位認定会での審査体制は、手打ちそば店を営むプロの方を「全国審査員(平成26年度に「特任審査員」と名称を変更)」に委嘱していました。その後、いくつかの紆余曲折を経ながら、全麵協そば打ち段位認定制度における高段位認定者を「全国審査員」に任命して、そば打ち段位認定制度の根幹となる段位審査員を担ってもらっています。



令和の新時代に入り、さらに新しい審査体制の下で精度の高い認定会とすることを目指し、今までの全国審査員29名に加えて13名増員して総計42名に増強して、審査体制の大幅な拡充を図りました。全国審査員は今後実施される段位認定会における審査員としてはもとより、多くの段位認定会における審査委員長として重責を担ってもらうことになります。このことは、地方審査員への技能審査の模範となるだけでなく、公正、公平な技能審査を実施するための牽引者としてリーダーシップを発揮していただかなければならない立場にいるわけです。これらのことから、「全国審査員研修会」を開催しました。なお、全国審査員研修会は会場の収容人員の関係から2回に分けて実施いたしました。

### 記

- 1、期 日：【第1回】令和元年6月16日(日) 午前9時～午後4時  
【第2回】           "           29日(土) 午前9時～午後4時
- 2、会 場：全麵協研修センター(東京都台東区西浅草2-8-10)
- 3、参加者数：6月16日・10名   6月29日・25名   合計35名(出席率83.3%)
- 4、講 師：理事長 中谷信一 特任審査員 加藤 憲、藤間英雄  
スタッフ：全国審査員 落合輝美、横田節子、苜 啓、水口久雄、土屋博一
- 5、日 程(6月16日・29日 共通)

	時 間	研 修 項 目	講 師
第1講	9:30~10:00	(一社)全麵協の全国審査員として	中谷信一 全麵協理事長
第2講	10:10~11:00	全国審査員としての役割	加藤 憲 専務理事
第3講	11:10~12:00	全国審査員として全麵協組織への係り	藤間英雄 事務局長
昼 食	12:00~13:00		
第4講	13:00~16:00	全国審査員としての審査のポイント 技能審査チェック項目と補足の説明	落合輝美、横田節子、苜 啓、水口久雄、土屋博一

## 6、開催を終えて

全国審査員は「全麵協素人そば打ち段位認定制度」の認定会における技能審査をするだけの責務だけではなく、全麵協事業の中心的推進役になって活躍してもらわなくてはならない方々ばかりです。このため、全麵協の基本的理念、重点施策、組織運営等についても良く理解して認識してもらうことが重要です。中谷理事長からは、全麵協の生い立ちから今後どのような方向に向かって発展させて行くかについて、加藤専務理事から全国審査員としてどのように全麵協と関わってもらうかについて、藤間事務局長から組織運営のリーダーとしてどのように考えて行くか等について、具体的課題、問題点を提示して説明しました。これらの説明について、これまで何となく把握していたが具体的にこのような現状であったということは承知していなかったので、今後自分自身が全麵協とどう関わって行くかが良く理解できたという感想を持つ方が多くいました。

午後からは、横田段位認定部長、落合段位普及部長が中心となって、水口、蒔、土屋専門チーム員を講師として、従来の素人そば打ち段位認定制度「審査基準規程」の別表「技能審査チェック項目」を、段位別の配点区分見直しについて解説しました。さらに、「全国審査員会議における統一見解(平成17年度版、平成24年度版)」が廃止されて、新しく「補足説明」に変わったことの解説を行いました。

今後これらのことについては、段位認定会審査の中心となって技能審査を担当する全国審査員には良く理解してもらう必要があります。今回研修会を実施した重要な理由の一つです。今回受講された皆さんは、それを良く踏まえて自覚していて、日頃から疑問に思っていることについての質問や、今回変更された審査基準を真剣に議論しながら



受講し、全国審査員としての審査技術の均一性、公平性が確保されて、高いレベルでの審査技術が習得された、実りある研修会とすることができました。

全支部の全国審査員が一堂に集まって研修を受講したことで、今後の認定会審査が向上することと期待されます。また、研修を終えて開かれた懇親会はアットホームな雰囲気の中、交流が行き交い、和やかな時間を過ごすことができました。遠路からの参加者には前泊、後泊と時間と経費を費やして参加されたことに深く感謝いたします。

